

第5回 町田市立町田第一中学校改築計画基本設計検討委員会・会議録

日 時 2016年9月27日(火) 14:30～16:00

場 所 市庁舎10階 第3・4会議室

出席者

(委員)

野澤中町三丁目町内会相談役(委員長)、吉川学校教育部長(副委員長)、
中旭町二丁目町内会長、越水本町田町内会長、森貞PTA副会長、内山PTA副会長、
花田町田第一中学校長

(関係職員)

市川教育総務課長、岸波施設課長、田中学務課長、佐藤保健給食課長、宮田指導室長、
勝又教育センター所長、平川施設課担当課長、菅野施設課主任、徳重営繕課長、
小坂営繕課学校施設係長、濱口営繕課主事

(設計会社)

綜企画設計 佐野(管理)、植村(技術/意匠)、関(技術/意匠)

(事務局・教育総務課)

小宮担当課長、徳浪係長、松村担当係長、村井主任、大高主任

欠席者

(委員)

澤田森野中央町内会長、新井中町中央町内会長

傍聴人数 0名

<資料>

- ・第4回「町田市立町田第一中学校改築計画基本設計検討委員会」会議録(案)【資料1】
- ・設計会社作成資料【資料2】

会議概要

(委員長)

第4回検討委員会までの検討経過を振り返るとともに、今回の検討委員会での検討事項について確認したい。

本検討委員会は、町田第一中学校改築計画における基本設計について検討してきた。具体的には、設計指針の検討や地域開放に関すること、また、学校の要望をどのように基本設計に反映させるかなどを検討してきた。

当初のスケジュールでは、第3回検討委員会で推薦する建築案の決定、地域開放や特別支援学級に関する内容の確定を行い、第4回検討委員会で配置やゾーニング、動線計画等を検討し、第5回検討委員会でまとめる予定となっていた。しかし、毎回、委員から様々な意見をいただき、それを反映した建築案の確認・検討を繰り返し行っていたことから、現在まで検討委員会として推薦する建築案の決定に至っていない。

第5回では検討委員会として推薦する建築案の決定を行いたいと考えている。比較する建築案は、交流テラス案と中庭案の2案になる。前回での委員からの意見を踏まえ、

今回も修正された建築案が設計事務所から提案されるので、委員にはどちらの建築案が新しい町田第一中学校に相応しいのかを検討し、選んでいただきたい。なお、推薦する建築案として決定した案がそのまま基本設計になるわけではなく、推薦された建築案を基に、再度、教育活動や防犯における配慮事項など、引き続き、学校から聞き取りを行い、年度内に基本設計を完了させることになる。

1 第4回会議録の確認

事前に配付した【資料1】について、委員からの意見は無く確定とした。

2 町田第一中学校の改築計画について

(1) 第4回検討委員会での意見・要望に対する検討結果の報告（綜企画設計）

【資料2】に基づき説明あり。

- ・項目は、①検討経緯（前回検討委員会からの計画経緯の説明）、②設計概要（条件の整理・分析）、③検討結果（前回までの検討結果）、④計画検討（セキュリティと安全性の確認）、⑤⑥詳細計画（交流テラス案と中庭案の計画提示）、⑦計画比較（交流テラス案と中庭案の比較表）、である。
- ・セキュリティや安全対策は、両案比較による優位性はない。懸案事項は、今後の詳細検討の中で対応することが可能であると考え。今回の検討委員会では、「校庭側にテラスを持つ」交流テラス案と、「普通教室を校庭側に配置した」中庭案について、どちらの建築案を推薦するか検討をお願いしたい。

(施設課)

今回の検討委員会では、今までの議論と説明を踏まえ、どちらの建築案を推薦するか決めていただきたい。教育委員会として、推薦された建築案を「町田市立町田第一中学校改築計画基本設計検討委員会の推薦案」と位置づけ、その建築案を基に基本設計を策定し、全体の改築計画に反映していきたい。

いずれの建築案も、教室配置、防犯対策、開放エリアとのゾーニング、工事中の仮設計画や代替グラウンドの使用期間等については、今後基本設計や実施設計を進めていく中で、町田市の予算編成、学校現場の授業カリキュラムや年間行事スケジュールを念頭に、教育委員会で十分に調整したうえで決定していきたいと考えている。

今後の町田第一中学校改築事業の進行は、本日までの意見を参考に基本設計を進め、2017年2月頃に、第6回検討委員会にて基本設計案を報告したい。その後、町田市長並びに町田市議会に報告を行い、来年度には工事発注に向けての実施設計に着手する予定である。

なお、計画を進めるに当たって、①工事中及び工事完了後の生徒・近隣住民等への安全に配慮する、②地域開放は「使いやすい、入りやすい」と「安全・安心なセキュリティ」を両立させる、③防災拠点としての機能・性能を向上させる、④工事中の騒音・振動の低減に努める、⑤工事中の交通への影響を最小限に抑える、⑥出来る限り工事期間を短縮する、ことに留意していくが、検討委員会からも意見をいただきたい。

(2) 検討委員からの質問及び意見交換

- (委員) 防球ネットの材質はどのような物になるのか。現在は金網である。強化ガラスはどうか。
- (関係職員) 詳細は今後学校の要望を聞きながら検討していくが、予算や維持管理を考慮するとネットになると思われる。
- (委員) 既存校舎にアスベストが使用されていた場合、解体時の生徒への影響はどうか。
- (関係職員) アスベストが、外壁材に含有されているかについては現在調査中である。仮に含有されていても、飛散しない工法で工事を行い、生徒や近隣へ配慮をしていく。
- (委員) 交流テラス案にある階段には、雪等で滑りにくい素材を使用して欲しい。
- (関係職員) 他の場所も含めて、滑りにくい素材を使用する方向で検討していく。
- (委員) 交流テラス案で避難口が1階と2階に分散されるとあるが、1階はどの場所を指すのか。
- (関係職員) 廊下の突当りの窓等を掃き出し窓にすることで、非常時の出入口になるように考えている。
- (委員) テニスコートが校庭に配置されることで、グラウンドで100mの直線コースはとれなくなるのか。
- (設計会社) 図面上では100mあるが、走り抜くスペースが十分にある訳ではない。実際の100m走で使用するには制約があると思われる。今後設計を進めていく中で検討していく。
- (委員) グラウンドのトラックの位置は現在と同じになるのか。
- (設計会社) ほぼ同じ位置になる予定だが、周囲に緑地を設置する関係もあるので、詳細については今後検討していく。
- (委員) 体育大会での生徒等の配置のイメージは考えているのか。
- (関係職員) 検討はしているが、具体的な案はできていない。交流テラス案のテラス部分を活用することも可能ではないかと思われる。
- (委員) 交流テラス案の「気持ちの良い2階のテラスを通過して登下校する」は良いと思うが、庇の範囲はどの程度なのか。
- (設計会社) テラスの幅が全部庇で蓋われる訳ではないが、大部分はカバーできる想定である。
- (委員) 防球ネットの高さは、現状よりも高くして欲しい。
- (委員) 交流テラス案での懸案事項だった、中庭へのセキュリティや積雪への対処が解消され、また広い会議スペースが欲しいという要望も満たされた。地域開放諸室が2階・3階に配置されることも、今後の調整の中で2階のみ開放することも可能とのことである。普通教室が校庭側に配置されることが中庭案の魅力だが、特別支援教室は北側に配置されることを考えると、1学年が東側に配置されても良いと思う。これらを踏まえ、また、20年後、30年後の「町一中」、「特徴ある学校」を考慮すると交流テラス案が良いと思える。
- (委員) 地域開放を考えると、2階のテラスが出入口となる交流テラス案が使い勝手

が良いと思える。また、箱型の校舎ではなく「町一中らしい特徴」がある校舎が欲しい。セキュリティや使い勝手についての懸案事項が解消されたことを考えると、交流テラス案が良いと思える。

(委員) 現時点での工事スケジュールはどうか。

(関係職員) 2016年7月時点のスケジュールとして、①2018年夏から冬に現在のグラウンドに仮設校舎を建設、②2019年1月から2021年に、二期に分けて新校舎の建設・既存校舎の解体、③2021年8月に新校舎完成・引っ越し、④2021年9月仮設校舎の解体・グラウンド整備、の計画になっている。しかし、今後基本設計を進めていく中で、学校現場の授業カリキュラムや年間行事スケジュール、町田市の予算編成等を加味していくので、変更の可能性はある。詳細は、次回の第6回検討委員会で報告したいと考えている。

(委員) 要望として、テラスと大会議室の間仕切りは、開放して一体的に利用することを考慮した部材を使用して欲しい。

(3) 推薦する建築案の決定

(委員長)

議論も進んだので、ここで検討委員会として推薦する建築案の決定を行いたいと思う。交流テラス案のメリットとして、開放的なスペース、避難口が1階と2階に分散できる、デメリットとして、地域開放諸室が2階と3階に分散される、普通教室が1学年は東側に配置される、等が挙げられる。中庭案のメリットとして、校庭側に普通教室が配置される、地域開放諸室が2階に集中して配置される、デメリットとして、避難口が1階のみになる、等が挙げられる。今までの議論を踏まえ、新しい「町一中」に相応しい建築案はどちらかを決定したいので、賛成する案に挙手をお願いしたい。

出席委員全員が交流テラス案に挙手したため、交流テラス案を検討委員会として推薦することを決定した。

(4) その他

配置・ゾーニング・動線計画・セキュリティについて

(施設課)

本日決定した交流テラス案に沿って、1階に特別支援教室と管理諸室、2階・3階に特別教室と普通教室、4階に普通教室を配置することを基本に、学校と協議しながら決めていきたい。また、工事計画や工程については、アスベスト等の影響を勘案しながら今後検討していきたい。検討委員会として、特に留意して欲しい点について、意見をいただきたい。

(委員) 既存校舎にアスベストは使用されているのか。

(関係職員) 先ほどの説明どおり、アスベストが外壁材に含有されているかについては現在調査中である。仮に含有されていた場合、飛散しない工法で工事を行うた

め、工期が延びることが予想され、工期を二期に分ける案を変更する可能性もある。

(委員) 緑地は設けなければいけないのか。

(関係職員) 都の条例により、一定の面積の緑地を確保することが義務付けられている。

(委員) 緑地に植える植物は、維持管理の手間を考慮して欲しい。

(関係職員) 木の種類によって面積の計算が変わることを勘案しながら、日常の管理についてメンテナンスが少なくなる木を選んでいきたいと考えている。

(委員) 桜の木は伐採するのか。

(関係職員) 敷地内の桜は、仮設校舎を建設するうえで支障がある木については伐採する予定である。都市計画道路の歩道部分の桜は、建設部と協議中である。

(委員) 武道場と既存の体育館棟を2階で連結することは可能なのか。

(関係職員) 検討課題としたい。

(委員) 特別支援教室の昇降口から教室までの距離があるように思う。

(関係職員) 特別支援教室の昇降口は、雨天時を考慮して武道場の下側に配置している。

(委員) 給食配膳室にエレベーターが配置されているが、特別支援教室も一緒に使用するのか。

(関係職員) 地域開放を含め、皆で使用するようになる。定員15人程度の仕様を想定している。

3 次回のスケジュール

第6回 2017年2月下旬